

平成 26 年度第 1 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成 26 年 5 月 14 日（水） 午前 10 時～12 時
- 2 **開催場所** 郷土博物館 視聴覚室
- 3 **出席者**
（委員）平野委員長、平野（敏）副委員長、杉山委員、丸山（光）委員、丸山（純）委員、吉田委員
（事務局）石田生涯学習部長、永井生涯学習部次長、飯塚館長、島村、林（記）
（傍聴人）なし

4 議 事

- (1) 平成 25 年度 浦安市文化財審議会の報告について
- (2) 平成 26 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について
- (3) 平成 25 年度 郷土博物館の利用状況報告について
- (4) 平成 25 年度 文化財住宅の利用状況報告について
- (5) 平成 26 年度 郷土博物館の年間計画について
- (6) 平成 26 年度 開催イベント以外の年間計画について
- (7) その他

5 会議経過

会議に先立ち、人事異動に伴う職員紹介（石田生涯学習部長・永井生涯学習部次長）を行った。開会后、平野委員長、石田生涯学習部長があいさつを行った。

- (1) 平成 25 年度 浦安市文化財審議会の報告について
 - (2) 平成 26 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について
配布資料に基づき、事務局より説明した。
質疑・応答はなく、承認された。
 - (3) 平成 25 年度 郷土博物館の利用状況報告について
 - (4) 平成 25 年度 文化財住宅の利用状況報告について
配布資料をもとに、事務局より説明した。
質疑・応答はなく、承認された。
 - (5) 平成 26 年度 郷土博物館の年間計画について
 - (6) 平成 26 年度 開催イベント以外の年間計画について
博物館カレンダー・もやいの学校プログラムをもとに、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、下記のとおり。
- (委 員) もやいの学校として募集しているボランティアについての課題ということで、ご高齢の方の参加も多く、体験教室本番になっても指導者としての役割を果たしきれないことがままあり悩ましい、という話があったが、今の時代は、核家族が多く子どもたちが高齢者と接する機会が少ない。博物館のいろいろな体験教室は、高齢者と子どもたちが触れ合う大変良い機会

であるので、職員の方は大変かもしれないが、これからも継続して高齢者のボランティアが参加しやすいようにしていくのがよいと思う。

(委員) 焼玉エンジンについては、開館時に大変苦勞して復活させた。貴重な資料なので、機関士が元気なうちに後継者を育成していくことが大きな課題になる。動かし続けていくことができるように、力を入れて取り組んでほしい。

(委員) 一つ質問だが、三年前震災で三番瀬の洲が沈んでなくなってしまったと聞いたが、どうなのか教えてほしい。

(事務局) 埋め立て後、潮汐や潮流によって砂がたまって干潟になっていた場所が日の出地先にあった。その形は、毎年毎年変わっていく。3年前の地震では、長い揺れがあったことに加え、東京湾の湾奥でも1.8mほど潮が盛り上がっていたことがデータとして確認されており、その高波の影響によって、砂が深い沖の方へ流れていってしまったと思われる。ただ、震災直後に比べると、ここ1,2年でだいぶ砂が戻ってきたようにも感じられる。台風によって沖の砂が吹き寄せられて戻ってきたりもするので、10年くらい長いスパンで調査をしていく必要がある。

(委員) もやいの学校プログラムの最終頁に、「もやい」の言葉の説明がある。「舫…船をつなぐロープ(綱)のこと」とあるが、「船と岸を結ぶ」とした方がわかりやすいのではないかと私は思う。

またもう一つ浦安弁で、「ヤイビ」という言葉がある。堰などにかかっている木の板で仮橋のようなものだが、この言葉も向こう側とこちら側をつなぐ、とりもつ、というような意味もあるかと思うので、何かの機会に使えればよいと思う。

(事務局) 「ヤイビ」という言葉の語源は？漢字をあてるとどんな字になるのか？

(委員) 漢字や語源はわからないが、固定ではなく、使うときはすぐに取り外せる板のことである。農業では、収穫したものや道具などを船に乗せて運ぶことがあるのだが、船が通るときには、その板を取り外して脇に置いておき、人が堰を渡るときには、板をかけて渡ることができるようにする。それが、ヤイビである。人が乗っても割れない程度の厚さがある板である。

(7) その他

■ 農業調査報告書の完成

主な質疑・応答は、下記のとおり。

(事務局) p100にヤイビの写真も掲載されているので、ご確認ください。

(委員) p11の1行目、「こうした人口の増加は、耕地面積の減少へとつながっていく」というところがどうしても気になっている。この論理は、もしかしたら逆に、耕地面積が減ったから人口が増加したのかもしれないし、因果関係はないのかもしれない。前から指摘していたはずであるが。

(事務局) 著者に確認したところ、今後調査を深める必要があるが、浦安町誌の一

文を引用しているので、今回はこのまま記述したとのことである。今回の調査は、聞き取り中心のものであったので、数値的なデータの分析まで至らなかったが、今後の課題にしたい。

■ 任期満了に伴うお礼

平野委員長、森田委員は、5期10年満了に伴い、7月15日をもって解任となる。事務局から、これまでのご尽力に対してお礼を申し上げたのち、平野委員長から挨拶いただいた。

■ 次回の会議

第2回浦安市文化財審議会は、7月16日（水）を予定。
委嘱状の交付があるので、出席をお願いしたい。

以上をもって、平成26年度 第1回浦安市文化財審議会は、閉会した。